

報道関係者各位
プレスリリース

2016年7月7日
アスタミューゼ株式会社

1位は大阪大学。筑波大、東工大が続く。

「遠隔医療・遠隔手術」市場における科研費獲得金額ランキング TOP50

～総投資額約 25 億円、117 大学/研究機関、383 テーマから注目の研究テーマをご紹介します～

ビジネスを創る要素が、有形資産（タンジブル・アセット）から無形資産（インタンジブル・アセット）へと移行しつつある中、各企業がどのようなビジョンに沿って、人材・技術・ネットワークを獲得し、将来の新しい価値を生み出していくかが注目されています。

この状況下で、アスタミューゼ株式会社（以下、アスタミューゼ）は、世界 80 カ国の研究/技術/特許/アイデアの情報とそれに関わるプレイヤー（ベンチャー、中小企業、大企業）情報を集め、各先端分野に精通した専門アナリストが分析、「2025 年の 180 有望成長市場」という将来ビジョンを独自に定義しています。

今回は、基礎から応用までのあらゆる学術研究を発展させることを目的とする競争的研究資金「科研費」(※1)に着目。将来ビジョンの有望成長市場 180 のうちのひとつであり、総額約 25 億円の科研費を獲得している「30. 遠隔医療・遠隔手術」市場における大学・研究機関別の科研費獲得金額ランキングを発表、さらに注目すべき研究テーマをご紹介します。

(※1) 科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金/科学研究費補助金）

■総投資額約 25 億円、117 大学/研究機関、383 テーマ中、「30. 遠隔医療・遠隔手術」

市場における大学・研究機関別（※2）の科研費獲得金額ランキング TOP50（※3）

（※2）研究代表者が所属する大学・研究機関

（※3）2006～2015 年の交付分。2016 年 7 月時点でデータ取得

順位	大学・研究機関名	件数	総配分額（円・計画含）
1	大阪大学	12	156,890,000
2	筑波大学	8	119,320,000
3	東京工業大学	9	111,030,000
4	東京大学	13	110,840,000
5	筑波技術大学	6	75,290,000
6	信州大学	8	74,750,000
7	兵庫県立大学	7	67,140,000
8	九州工業大学	4	66,120,000
9	立命館大学	4	55,030,000
10	神戸大学	6	54,600,000
11	北海道大学	8	45,332,000
12	福岡大学	3	42,770,000
13	長野県看護大学	2	42,250,000
14	京都大学	5	37,870,000
15	早稲田大学	5	35,440,000
16	新潟大学	5	35,200,000
17	聖路加国際大学	2	34,970,000
18	群馬大学	3	34,320,000
19	金沢工業高等専門学校	4	33,370,000
20	放送大学	6	32,240,000

※50位までのランキングは未来を創る有望成長市場・有望企業情報メディア『astavision』上でご覧になれます。

URL: http://astavision.com/contents/news/2100?from=pt160707_1

■注目すべき研究テーマをご紹介します

◆多様な臓器・器官の低侵襲操作のための高集積手術機械システムの創造（東京工業大学 小俣透教授 他 / 3913万円）

この研究では、腹腔・胸腔鏡下手術などの内視鏡手術の急速な普及や放射線治療における医師の被ばく防止策に対応するために多様な臓器・期間を低侵襲に操作するための高集積手術機械システムを開発することを目的とされた。小型力センサを組み込んだ鉗子の開発、口腔外科小線源治療用遠隔手術システムの開発、咽頭がん手術マニピュレータの開発などに取り組み、これらを集積したデバイスおよびシステムが開発された。

◆臨床応用に向けた遠隔看護システムの開発（筑波大学 川口孝泰教授 他 / 4589万円）

この研究では、情報通信技術を用いた新たな看護技術（遠隔看護システム）を臨床応用可能な社会システムとして開発することを目的として行われた。実施された遠隔看護（テレナーシング）では在宅療養糖尿病患者を対象に毎日のセルフモニタリング（バイタルサインの測定・記録）と Web カメラを用いたテレビ電話による指導、相談などを実施した。その結果、対象患者の自己管理が促進されるなど遠隔看護の実用化に向けた有効性が示唆された。

◆包括的な遠隔心理支援システムの開発（福岡大学 長江信和准教授 他 / 1950万円）

国が定める重要な精神保健医療福祉施策である「心の健康づくり」は国民の QOL (Quality of life, クオリティ・オブ・ライフ) の向上や自殺などの予防につながることを期待される。この研究では、心の病や人間関係、経済的問題などの悩みを抱えて社会的に孤立した要援助者を

対象に臨床心理学的観点からインターネットを用いた心の健康づくりの新技术である包括的遠隔心理支援システムを構築し、2000 件以上の遠隔心理支援を実施した。

※50 位までのランキングは未来を創る有望成長市場・有望企業情報メディア『astavision』上でご覧になれます。

URL: http://astavision.com/contents/news/2100?from=pt160707_2

■ 「30. 遠隔医療・遠隔手術」市場について

アスタミューゼでは企業情報・特許情報などのビッグデータ分析により、今後成長が見込まれる有望市場を「180 の有望成長市場」として分類しており、そのひとつが「30. 遠隔医療・遠隔手術」市場です。

遠隔医療は、日本では 1970 年代頃に始まり、当初は医者・医療機関同士による"D(Doctor) to D"が、その後、医者・医療機関と患者間の"D to P(Patient)"タイプの遠隔医療が発展してきました。厚労省医療統計によれば、遠隔医療は「遠隔画像診断」、「遠隔病理診断」、「遠隔在宅診療・療養支援」の 3 つに大きく分類され、そのどれもが 2005 年から 2014 年までの間に 2 倍程度にまで増加しています。遠隔操作により手術を行う目的で開発され、2000 年に FDA で承認を受けた内視鏡手術用ロボット「ダ・ヴィンチ」がありますが、このような手術支援ロボットの市場規模は約 4000 億円とも言われています。

主な技術要素としては「遠隔画像診断」「手術支援ロボット」「AR 医療」などがあり、主な技術・製品・サービスの例としては、遠隔医療健康相談「ポケットドクター」（株式会社オプティム、MRT 株式会社）、「da Vinci」（Intuitive Surgical） などがあります。

また、この市場の主なプレイヤーとしては、ソニー株式会社、パナソニック株式会社、株式会社日立製作所などがあり、180の有望成長市場における主な関連市場としては、「18. 画像診断・生体イメージング」「39. 手術ロボット・手術支援システム」「175. 生体情報デバイス・バイオセンサ」などがあります。

アスタミューゼでは、この市場の2015年世界市場規模を248億米ドルと推定、2025年世界市場規模を710億米ドルと推定しています。

■「30. 遠隔医療・遠隔手術」市場に関するベンチャー・最先端技術などの情報配信サービス

アスタミューゼでは、新規事業・オープンイノベーションのためのデータのご提供および実行支援を行っており、大手メーカーの経営企画/CVC部門、R&D/知財部門、新規事業部門をはじめ、金融・VCなど100社以上ご利用いただいています。

その中でも情報配信サービスでは、国内700大学/研究機関・約500万テーマの研究テーマ、全世界100万社の有望イノベーター（ベンチャー・大学発VB等）情報、全世界1200サイト・30万プロジェクトのクラウドファンディング情報を180の有望成長市場毎に分類し、各市場における関連企業や関連アイデアのリストおよび統計情報をご提供しています。

月額9万円から、新規事業アイデアの探索、新規事業実行のための投資・提携先の探索といった用途にご利用いただけます。

※本プレスリリースのファイル内に、参考資料として「アスタミューゼが定義する180の有望成長市場」一覧を記載しております。

【お問い合わせ・サンプルご請求はこちら】

◆Web からのお問い合わせ

<http://www.astamuse.co.jp/contact/corporation/content?from=pt160707>

◆お電話でのお問合せ

03-5148-7392

■アスタミューゼ株式会社について

世界中の課題を解決し、未来を創るプラットフォーム『astamuse.com』を提供すると共に、法人向けサービスとして、自社の課題を解決するためのイノベーションに関わるコンサルティングサービスを展開しています。

- ・ 代表者：代表取締役 永井 歩
- ・ 設立：2005 年 9 月
- ・ 所在地：東京都中央区築地四丁目 1 番 1 号 東劇ビル 7 階
- ・ URL: <http://www.astamuse.co.jp/>

【本プレスリリースに関する問い合わせ先】

アスタミューゼ株式会社

担当：亀久

mail: press@astamuse.co.jp

TEL: 03-5148-7393